

もち²×スマ もちもちの木smile

TOPICS

- ✓ 創立17周年もちもちの木祭り開催
- ✓ 70歳定年制の導入
- ✓ 赤い羽根共同募金「地域活動支援プロジェクト」土橋町町内会として参加
- ✓ もちもちスタッフ—それぞれの働き方
地域コミュニティ支援事業部 調理員 尾高さん

ごあいさつ



理事長 竹中庸子

寒中お見舞い申し上げます

2019年の干支は「己亥」十二支の最後の「亥」です。猪は古来より無

病息災の象徴とされ、目標に向かって猛進していく人を助ける「火の神の化身」とされていたそうです。

植物の成長で例えるなら、「亥」は葉っぱも花も散ってしまい、種に生命を引き継いだ状態で、発芽に備えてエネルギーを貯める時期にあたります。

また「己」（つちのと）は自己実現から人・社会への貢献へと変わる時期です。

もちもちの木も、成長した自己や成熟した組織で、足元を固め、次の段階を目指す準備に入ります。

2018年、平成で最悪の水害となった西日本豪雨災害では発生直後から支援活動を続けており、また昨年12月より支援金を活用して避難所でカフェを開催できる準備が整いました。一日も早く暮らしが穏やかになりますよう、継続的な取り組みを続けていきます。私どもも一丸となって成果が出るように猪突猛進してまいります。

厳寒のみぎり、何より皆様もご自愛くださいますようお願い申し上げます。

創立17周年もちもちの木祭り開催

さる平成30年11月10日（土）、もちもちの木祭りを開催いたしました！

土橋のおうちにて鯛めし、アンティーク食器、着物リメイク小物などの販売のほか、サクソ奏者・清田朝子さんをお招きし、多世代コンサートを実施。夜には交流会を行い、賛助会員様や地域の方々に多数お集まりいただき、大盛況の会を終えることができました。



多世代コンサートの様子

就業規則改正

①70歳定年制の導入

もちもちの木では「70歳定年制」がいよいよスタート！65歳までの正職員勤務後、65～70歳までを短時間正職員として勤務することができます。（70～75歳までは嘱託職員）働きながら仕事以外の時間を捻出することで、10～20年後を見越した自分の活動の場所や時間をつくることのできる制度です。いつまでも元気に活動し続けられる社会にしていきたいでしょう！

②ハラスメント禁止条項の追加

近年、ハラスメントに関する労働相談が増加しているといわれています。条項の追加に併せて、全スタッフの啓発を引き続き行っていきます。

社会人基礎力研修の実施

スタッフの介護技術だけでなく社会人としての基礎力向上を目的に、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」研修を行いました。

赤い羽根共同募金「地域活動支援プロジェクト」募金活動に参加いたします！



もちもちの木では、土橋町町内会役員として上記募金活動を行います。（平成31年3月31日まで）

この募金は、『西本川のむかしむかし』をテーマに、明治～昭和初期の商家が建ち並び活気あふれた土橋町の姿を多世代で学び、つながり、伝え、育ち合う活動に活用させていただきます。なにとぞご支援の程よろしく願いいたします。

もちもちの木各事業所のwebサイトはこちら！

法人サイト ▶ <http://mochi2.wpblog.jp/>

庚午のおうち ▶ <http://kougomc2.wpblog.jp/>

庚午のおうちシェアハウス入居者募集中！



丹野智文さん

去る平成30年9月1日（土）広島市東区地域福祉センターにて、認知症当事者が中心となって自主的に活動するグループ「ためき倶楽部」1周年記念フォーラムを開催。若年性アルツハイマー型認知症当事者の丹野智文さんをお迎えし記念講演を行いました。

講演では、当事者や家族、医療関係者など100名以上の参加があり、質疑応答も活発に行われました。



講演会の様子

発症当時39歳のトップセールスマンだった丹野さん。44歳の現在も同じ職場で事務職をされており、記憶力低下に対する専用カレンダーやヘルプカードを作成し活用するなど、仕事を続けるための環境を整えています。

また、当事者に対する接し方については、

- ・病名から見るのではなく本人を見る
- ・診察や支援の場面で家族に話を聞くのではなく本人に聞く
- ・失敗に対して怒らない、行動を奪わない(待つ)

など、当事者の自立を奪わない、やる気を削がない方法を教えてくださいました。

本人や家族が安心して暮らすことのできる支援が重要だと、改めて認識できた講演でした。

もちもちの木 働き方改革



もちもちの木には多様な働き方があります。パート、正職員、短時間正職員、嘱託職員という雇用形態のほか、育児や介護、地域活動や芸術活動との両立など。

今回は、もちもちの木自慢の食事を担当されている調理スタッフをご紹介します。



地域コミュニティ支援事業で毎月第4火曜日に土橋のおうちで開催される「よぼうの秘密ランチ会」の調理員として活動する尾高紀江さん。元タデサービス



調理員の尾高紀江さん

土橋のおうちで週2回調理員として勤務していたもちもち6年目のベテランです。

実は異色の経歴を持つ尾高さん。ピアノ教師をはじめ、高野山へ出家し尼僧として勤めていたお寺の留学生相談室で学生向けに多国籍料理を提供、還俗し結婚後は幼児教室の先生など、さまざまな職種を経験しています。

来広後、子育て中のため勤務日数や時間に余裕のある週2回の調理員として土橋のおうちで働き始めました。

尾高さんの担当する「よぼうの秘密ランチ会」は、通算35回開催、3年目になります（2018年12月時点）。地域内外から遠くは八本松から参加される方も。参加者が調理や盛り付けの手伝いに関わるなど、参加型のランチ会になっています。

「『食事づくり』は『思いの伝わる仕事』、そして、食を提供するということは信頼関係をつくる仕事です」と調理の仕事について話す尾高さん。

調理前の材料を見せ、どのような料理が出てくるのかワクワク感を持ってもらったり、「食」についての思い出を聞いたりするなど、一般的な食堂と違い参加者とのコミュニケーションを大切にしています。

そのようなコミュニケーションは参加者同士でもあり、他愛ない世間話から苦労話、悩み相談などで会話が弾み「初参加の方でも自然と居場所ができていく雰囲気がとても好きだ」と尾高さんはいいます。

お子さんの大学受験の際に、一度辞職をお願いしたことがあるそうです。月1回のランチ会だけでも続けてほしいとの説得があり働くことになったそうですが、その際には「働き方について個人的な都合を理解してくれた」とのこと。今では続けられて良かったと話します。

今回の取材を機にこれまでを振り返ったところ、総じて「人と関わり、人とともに居心地の良い場所をつくる活動をしてきたと思います」と話す尾高さん。

今後の目標は「何かしらの部会をつくること。認知症予防の地域活動をしたい」と話してくれました。

もちもちの木ではスタッフひとりひとりに合った働き方を提供しています。詳しくは、もちもちの木総務まで。

ご案内

昼食代600円だけで、デイサービス体験ができます！

施設見学＆待機登録受付中!! 若年性認知症の方の受け入れも行なっています。

もちもちの木は、どこにもない自由度の高い多様な暮らしをデイサービスやグループホームにおいてデザインしています。認知症や専門的医療に経験豊富な看護師が常勤、医療ニーズのあるケースでも対応可能です。例) カテーテル、ストーマなど



お問い合わせ

もちもちの木 総務

電話：082-294-9346

まで



特定非営利活動法人

もちもちの木

～優しい心～ 迷ったり 探さぬよう そばにいるよ

【本 部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35

TEL：082 (294) 9346 FAX：082 (294) 9328

MAIL：mochimochi.npo@gmail.com WEB：http://mochi2.wpblog.jp/

◎ 古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL：082 (272) 2701

◎ 庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11 ※お問い合わせは土橋のおうち

